

# 春の火災予防運動



## 野火火災に注意しましょう！

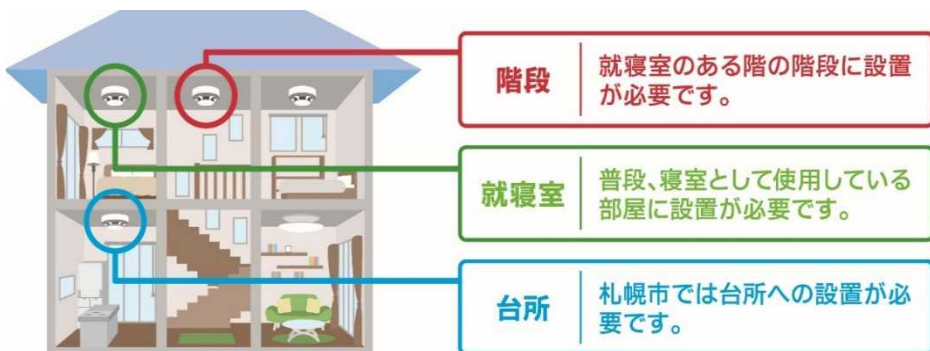
※毎年この時期は積雪がなくなり、露出した枯草等がごみ焼きの飛び火やたばこの投げ捨てにより火災化する野火火災が多発しています。春先は空気が乾燥し、風が強いので火災は急速に拡大してしまいますので、ごみ焼き、たばこの投げ捨ては絶対にやめましょう。



## 住宅火災を防止しましょう！

※火災はあなたの大切な人や資産を一瞬で奪います。以下の3つの対策が有効です。

### ●住宅用火災警報器を設置しましょう！



電池交換のサイン



※10年を目安に交換が推奨されています。

※住宅用火災警報器の「連動型」がさらに効果的です。

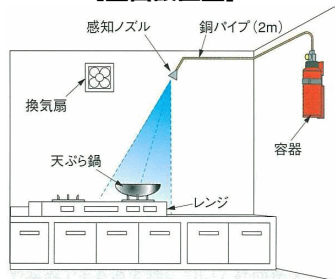
「連動型」は、火災を検知すると全ての感知器に伝達し、音が鳴るため、**火災発生場所にいなくても火災の発生を知ることができます！**

### ●消火器または自動消火装置を設置しましょう！

【レンジフード設置型】



【壁面設置型】



【天井設置型】



自動消火装置助成事業 ～ 市内居住の65歳以上の高齢者のみで構成される世帯を対象に1世帯につき、2台まで、購入・設置に要した費用の最大28,700を助成

### ●防災品を使用しましょう！

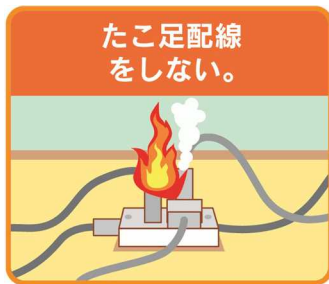
炎に触れても燃え広がらず火災の拡大を防ぎます。

防災品・非防災品



# 火災を防ぐポイント！（自己チェック！）

## 【電気】火災に注意！



### （電気編）

- タコ足配線はしない。
- 傷んだコードは使用しない。
- コンセントの差込口は清掃する。
- モバイルバッテリーに異変があるときは使用しない。

## 【こんろ】火災に注意！



### （こんろ編）

- こんろから離れる時は火を消す。
- こんろ付近に燃えやすい物は置かない。服を近づけない。
- こんろは壁から離して使用する。
- 安全装置がついた機器を使用する。

## 【たばこ】火災に注意！



### （たばこ編）

- 寝たばこ、くわえたばこはしない。
- 灰皿はいつもきれいにする。
- 吸い殻は水にさらすなどして捨てる。
- 屋外でのたばこの投げ捨てはしない。

## そのほか、ろうそくや線香による火災や【放火】火災にも注意！



### （放火編）

- 家の周りに燃えやすいものは置かない。
- 物置・車庫には鍵を掛ける。
- ゴミは指定された日に出す。
- 郵便受けに手紙等をためない。
- 夜間、防犯ライト等を使用する。



↑火災再現実験動画はこちら！

問い合わせ先

中央消防署予防課防火推進係 大森・長谷川

☎011-215-2120